

## 2018年 謹賀新年

本年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。

グループリビング運営協議会

### NEWS 特定非営利活動法人結いのきが2つ目のグループリビングを開設します！

特定非営利活動法人結いのき  
専務理事 井上 肇

結いのきが運営する高齢者共同運営住宅「グループリビング COCO 結いのき・花沢」は開所以来多くの入居者が利用されています。いつも満室の状態ですが、入居希望のご相談は常にいただいております。そのニーズに応え、この度「グループリビング COCO 結いのき・花沢」2号館を建設することとなりました。この度のコンセプトは「集いの場」としての結いのきを目指して、介護保険を使わない要支援の高齢者や、子どもたちの「多世代助け合いの居場所」、「協同の町づくり」の一翼を担えればと考えています。

またお弁当による配食事業と産直品などを販売する「栄養と健康づくりの場」としても発信していきます。さらに「災害時の避難所」としての役割と、「異業種の集まりの場」としての社会的な機能も備えていきたいと思えます。

---

2ページに COCO 結いのき・花沢の説明書を添付しました。上記の文章は説明書の一部です。  
説明書を読み追加質問した情報は以下です。

- ・竣工予定年月日→2018年5月30日（予定）
- ・住所 山形県米沢市花沢町 2686-3（グループリビング1号間の隣）
- ・補助金の利用 平成29年度 高齢者生きがい活動促進事業 国庫補助  
一般社団法人 全国食支援活動協力会からの紹介。  
100万円が上限 スチームコンベクションオープンと耐熱ランチボックス  
(60個)の購入資金としました。国→県→市と降りてきたようです。
- ・サービス形態 現在運営のCOCO結いのき1号館と同じ。

\*なお、建築許可申請の際にあった指導と対応については3ページにあります。

# グループリビング COCO結いのき・花沢 2号館

## ■集いの場

### 地域交流スペース



#### 【目的】

・子供からお年寄りまで、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる町の実現を目指し、支え合いのしくみづくりを進めるための拠点として活動する。

#### 【機能】

- ・1Fのカフェは地域の方々や市民がゆったりくつろいで、お茶やコーヒー、軽食等楽しんでいただくスペースとする。ここに来れば顔なじみに会える、会話を楽しめる、何でも相談できる場所を目指す。
- ・1Fのデポーは、だれがどのように育てた農産物か分かる産直品、安全を確認した基礎調味料や日配品、冷凍・冷蔵品等の販売で楽しくお得に買い物できる場を目指す。
- ・2Fの集いの場スペースは、スケジュールを組み、様々な教室や趣味の時間をお茶やコーヒー等を飲みながら過ごしていただき、昼食も提供する。参加者は花沢地区近隣の方を中心に米沢市民とし、老若男女を対象として行ない、生涯教育と生きがいの場を目指す。

また、「災害時の避難所」「異業種の集まりの場」として事務所の貸出しなどの機能も備える。

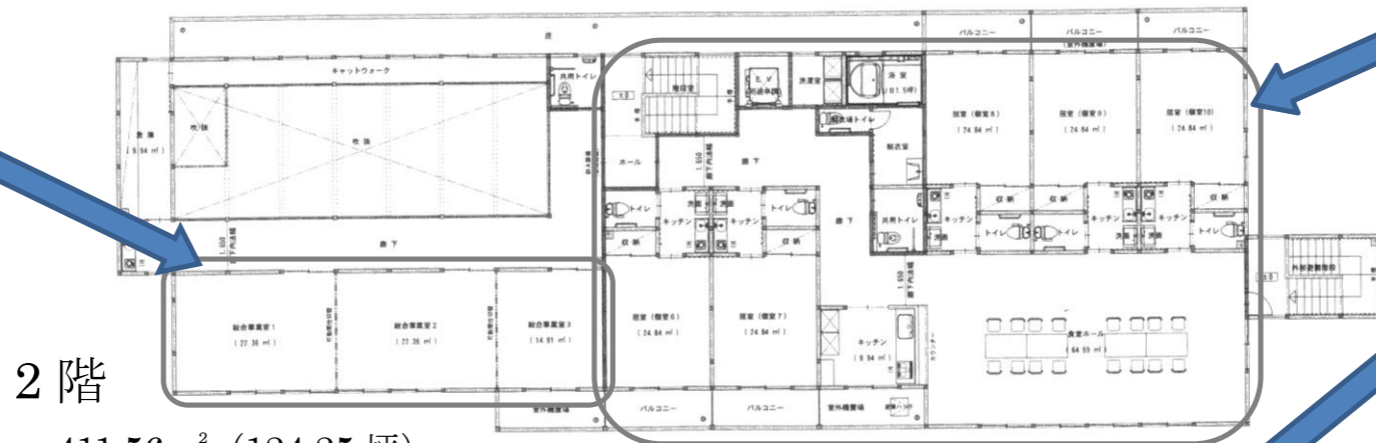
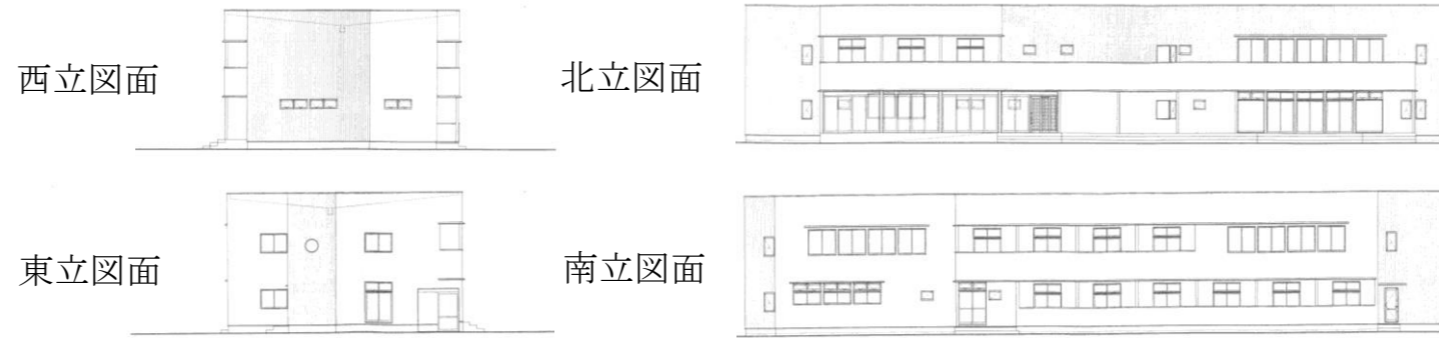
#### 【効果】

- ・介護保険制度から切り離された要支援者に対する気軽に利用できる受け皿として、また介護予防対象者への心身の能力低下を防ぐ役割として、さらに様々な家庭の事情から貧困状態に陥った子どもに食事提供、学習支援、相談の場として活動し解決につなげる。

災害時の避難所としても貢献する。

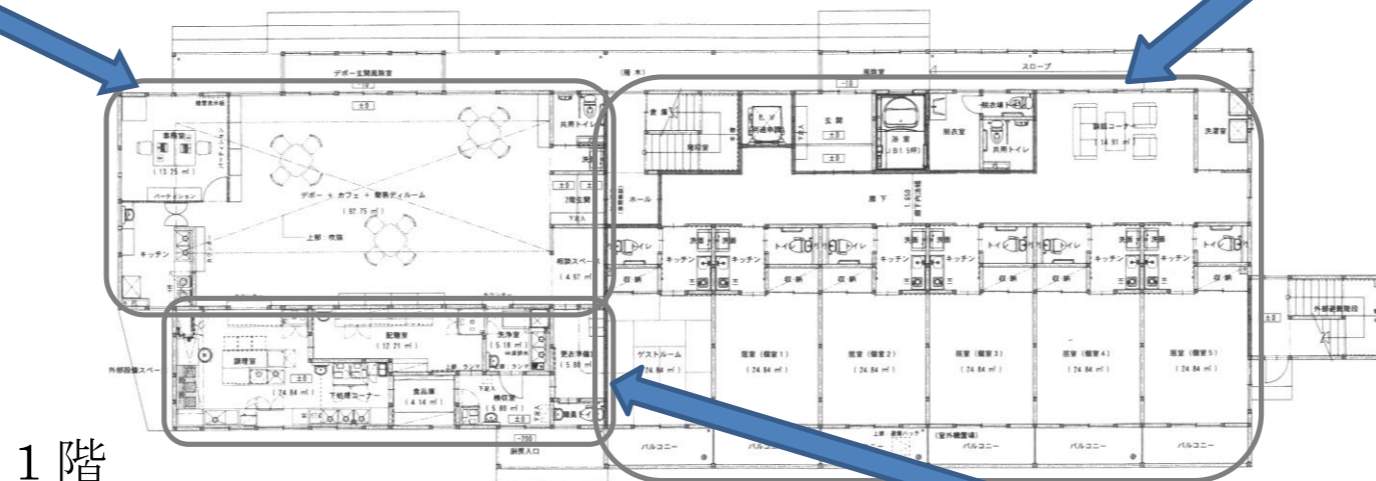
結いのきが運営する高齢者共同運営住宅「グループリビング COCO 結いのき・花沢」は開所以来多くの入居者が利用されています。いつも満室の状態ですが、入居希望のご相談は常にいただいております。そのニーズに応え、この度「グループリビング COCO 結いのき・花沢」2号館を建設することとなりました。この度のコンセプトは「集いの場」としての結いのきを目指して、介護保険を使わない要支援の高齢者や、子どもたちの「多世代助け合いの居場所」、「協同の町づくり」の一翼を担えればと考えています。

またお弁当による配食事業と産直品などを販売する「栄養と健康づくりの場」としても発信していきます。さらに「災害時の避難所」としての役割と、「異業種の集まりの場」としての社会的な機能も備えていきたいと思っております。



2階

411.56 m<sup>2</sup> (124.25 坪)



1階

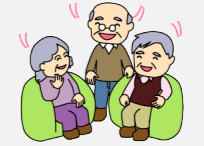
467.04 m<sup>2</sup> (141.00 坪)

延床面積 878.60 m<sup>2</sup> (265.25 坪)

敷地面積 1502.38 m<sup>2</sup> (453.57 坪)

総工費 約2億6千万円 (諸経費、備品込)

## ■グループリビング



#### 【目的】

- ・10名の入居者が、終の棲家として「自立と協同」の生活を共にし、「地域社会と共生」することで医療保険や介護保険に出来るだけ依拠しないで、いきいきと有意義に暮らす。

#### 【機能】

- ・共に暮らすことについては、コミュニティーを育て、共に家庭生活を共同し合う。下宿的なアパートではない。
- ・問題や課題が発生した場合は、入居者同士のミーティングで解決していく。そのためには10名前後が望ましい。
- ・「出会い、ふれあい、学びあい」の心で地域社会へ積極的に参加して、社会活動を続けていく。
- ・ゲストルームを設け、多人数の訪問者の宿泊や他の宿泊希望者に備える。

#### 【効果】

- ・お互いにプライバシーを守り、隣組としてコミュニケーションを取り合い、健康寿命を延ばしながら助け合い楽しく自立した暮らしをすることができる。

## ■配食見守り弁当



#### 【目的】

- ・素性が分かり安全を確認した原材料だけを使用した、高齢者にとって栄養バランスの良い弁当での健康維持と、高齢者世帯や一人暮らしの方等の安否確認、事故防止の見守りを目的とする。

#### 【機能】

- ・見守り担当者が弁当お届けの際、利用者の様子を観察し変化を見逃さないことや異変を察知し連絡する。

#### 【効果】

- ・火事を未然に防いだり、利用者の事故を発見し救急対応できたり、認知症や身体的支援が必要な事例を見出した実績がある。



## 特集 なぜ有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に登録していないのでしょうか？

NO. 15、NO. 16 の特集に引き続き、グループリビングの運営者にご意見をいただきました。

### 「自立と共生」を掲げた高齢期の住まいのプライドがありますから

特定非営利活動法人暮らしネット・えん  
小島美里

グループリビングえんの森は「有料老人ホーム登録絶対拒否」という姿勢ではありません。でも、正直「イヤだな」と思っています。今増えている有料老人ホームは、食事など生活全般の時間が決められ外出もままならない、そのわりには必要なだけのケアは受けられない、おまけに利用料は高い、ネガティブなイメージばかり浮かんでいきます。生活全般を管理されて生きるのではなく、「自立と共生」を掲げた高齢期の住まいグループリビングで互いに支えあって暮らしていこう、そう呼びかけて開設したプライドがありますから。

けれども介護保険サービスを運営するNPOですから、指定基準を守ることが利用者を守ることにつながるのもよく知っているつもりです。JKA補助対象のグループリビングなので、自動火災通報装置やスプリンクラーの設置、車椅子移動可能な廊下幅などのハード面での基準は満たしていますし、介護系NPOなので安否確認などの見守りや緊急対応、相談機能も備えています。ハード面、ソフト面ともすぐにでも登録が可能です。居住者と登録について話しあったとき、「わたしは有料老人ホームではなく、グループリビングに入ったのです」、「拒否しなくてもよいのでは」と相反する意見がでましたが、皆さんどちらの意見ももっともだといった雰囲気でした。

回りくどくなってしまうのですが、質の悪い「無届施設」ではなく、「自立と共生のグループリビングです」と胸を張って答えたい。「無届」の意地のようなものが、グループリビングえんの森を良き暮らしの場にする原動力の一部になっているのかもしれない。

もちろん、登録しても良いというカテゴリであれば素直に届け出します。3年かけて調査研究中の「高齢者グループリビングの社会的普及に向けた実践的研究」がその一助になればよいと考えています。



#### ワークショップの日程と場所が決定いたしました。

日時 3月3日土曜日 13:30~17:00

場所 おでんせ中野島 神奈川県 川崎市多摩区布田 24-25 (JR南武線中野島駅徒歩10分)

\*詳細は1月末頃お知らせいたします。

#### 編集後記

昨年から協議会でやっている「高齢者グループリビングの社会的普及に向けた実践的調査研究」は、来年度が最終年度となります。様々な事業者の調査を行う中で、事業計画時点での情報が十分でないため、土地建物の契約、運営の仕組み、建物の作り方などで、運営や経営を難しくしているところがいくつか見受けられました。調査研究では、これからグループリビングを作ろうと考える人達が安心して取り組める知見をまとめていきたいと思っています。(な)

編集委員 小島美里 土井原奈津江



この会報は公益財団法人 JKA 補助事業「お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動」で運営されています。